

6. 伝統工芸に関するつぎの説明にそれぞれ1つ間違いがあります。それを記号で答えなさい。

- (61) 現在、西沢利一さんが唯一人製作を続けている「浅沓」は、(イ) 木製、(ロ) 漆塗りで、(ハ) 型作りは一閑張り、(ニ) 仕上げは本堅地ろ色塗りである。
- (62) 現在、中川忠峰さんに代表される「伊勢根付」は、江戸期に、(イ) 巾着や煙草入れを、(ロ) 帯にはさむのにかっこよく見せるために作られ、(ハ) 神宮参拝のみやげものとして人気があった。(ニ) 原料は堅い材質の朝熊黄楊が重宝されている。
- (63) 150 年余つづく岩田提灯店の「提灯」は、(イ) 木型に沿って竹ヒゴを糸で結んで型を作り、(ロ) それに和紙を1枚ずつ張り合わせて作る。(ハ) 伊勢ではこれまで主に装飾用のものが作られてきており、(ニ) 形としては、円筒型、丸型、橐型などのものが作られている。
- (64) 故中村良記さんが確立した「伊勢一刀彫」は、(イ) 遷宮時の残材を材料として宮大工が作りはじめたといわれてきている。(ロ) 独特の大きなノミで大胆に木の角を取り、(ハ) 縁起ものの干支や神鶏、それに鯉などが彫られてきた。(ニ) もとは、「根付」より派生したともいわれている。
- (65) 伊勢の「刳物」は、(イ) 明治のはじめ、信州からの技術者により伝えられたといわれる。(ロ) ろくろを使うことや、材料(チシャ、サルスベリなど)にはこれといった特色はない。(ハ) これまで日用雑貨は余り作られず、もっぱら玩具が作られてきた。(ニ) その玩具に鮮やかな色彩が施されることに特色がある。
- (66) 「練物玩具」の(イ) 発生年代、創案者などは定かでないが、明治期からみやげ物として作られてきた。(ロ) 製作地はこの地域が中心である。(ハ) 製作は大鋸粉を糊で練り固め形を作り彩色する。(ニ) 大鋸粉を使うので、製品はどうしても小さなものになりがちである。

7. 先般行われた外宮の御白石持ちの道筋には、伊勢を理解するためのいくつかの景観があります。その景観にかかる設問について、記号で答えなさい。

(67) 山田上口駅の名は、明治 30 年参宮鉄道が開通した時には、別の名でした。その名は？

(イ) 常磐 (ロ) 筋向橋 (ハ) 堤世古 (ニ) 山田西口

(68) 筋向橋から東に入る浦之橋通りの、江戸期の名は？

(イ) 河崎世古 (ロ) 橋村世古 (ハ) 石屋世古 (ニ) 玉や世古

(69) 次の交差点は宮町通りと交差していますが、宮町は明治元年まで、別の名で呼ばれていましたが、その名は？

(イ) 坂之世古 (ロ) 今之世古 (ハ) 中之郷 (ニ) 下中之郷

(70) 八日市場に入ると、小西万金丹の堂々とした伊勢旧来の建物を目にしますが、その屋根の形態は？

(イ) 切妻妻入・反り

(ロ) 切妻妻入・すぐ

(ハ) 切妻妻入・むくり

(二) 切妻平入

(71) つぎの交差点を北に入る大世古通りを **50m** ほど行くと、旧竜大夫邸がありますが、この屋敷地にある工場は？

(イ) 松田ミシン

(口) 北村物産

(ハ) ヤマナカフーズ

(二) 大豊和紙

(72) 車の曳きこまれる北御門を北にとると、月夜見宮に至りますが、この通りの名は？

(イ) 月夜見通り

(口) 白馬通り

(ハ) 神路通り

(二) 東通り

8. おかげ横丁は、伊勢を訪れる観光客が必ず立ち寄る人気スポットです。おかげ横丁に関する説明文を、それぞれ適語を選んで、記号で答えなさい。

おはらい町は、昭和40年代には、正月を除くとほとんど往来者のないさびれた町でした。昭和48年の式年遷宮を機会に、地元有志がつぎの遷宮までにまちづくりを進めようと決意し、伊勢市も全面的にバックアップ、様々な困難を乗り越えて今日のにぎわいとなりました。その核となったのがおかげ横丁で、平成5年に地元資本(73)が開発した商業施設です。

常夜灯のある入口を入ると、太鼓櫓があり、その広場ではいつもちょっとしたイベントが行われています。そこを左に曲がると、伊勢になじみの深い(74)の俳句館と、伊勢の風物を版画にした(75)の版画館があります。周辺には各種の食事所があり、奥には2階がイベント会場となっている(76)があります。広場を右にとると、ファストフードの店などがあり、その奥に(77)が新しく開設されました。ここはこれまで江戸期のお伊勢参りや伊勢の町の様子を再現した(78)として、横丁の核となっていたところです。

- | | |
|-------------------|------------------|
| (73) (イ) おはらい町商店街 | (ロ) 宇治地区の有志 |
| (ハ) 伊勢福 | (ニ) 伊勢市を含む第3セクター |
| (74) (イ) 芭蕉 | (ロ) 山口誓子 |
| (ハ) 岩出甫石 | (ニ) 樗良 |
| (75) (イ) 徳力富吉郎 | (ロ) 横地長重 |
| (ハ) 喜多村豊洲 | (ニ) 森秀峰 |
| (76) (イ) 海老丸 | (ロ) はいからさん |
| (ハ) 大黒ホール | (ニ) もめんや藍 |
| (77) (イ) 神話の森 | (ロ) 神話の館 |
| (ハ) 神話の杜 | (ニ) 神話の蔵 |
| (78) (イ) 招福亭 | (ロ) ええじゃない家 |
| (ハ) お蔭参り | (ニ) おかげ座 |

9. つぎの植物と関係の深い人物名を選んで記号で答えなさい。

(79) 臥龍梅

(イ) 伊勢三郎義盛 (ロ) 菅原道真 (ハ) 平知盛 (ニ) 大岡忠相

(80) お屋根桜

(イ) 出口延佳 (ロ) 尾崎号堂 (ハ) 松井孫右衛門 (ニ) 足代弘訓

(81) 外宮表参道の楠

(イ) 藺田将監 (ロ) 平清盛 (ハ) 源頼朝 (ニ) 平知盛

(82) 伊勢の浜荻

(イ) 一休禅師 (ロ) 徳田椿堂 (ハ) 救済法師 (ニ) 荒木田守武

(83) 松下社の楠

(イ) 体阿弥直次郎 (ロ) おさぶ女郎 (ハ) 伊勢正直 (ニ) 蘇民将来

10. つぎの食べ物と関連の深い年中行事を選んで記号で答えなさい。

(84) 宇治橋前で、参拝者に「いところ煮」がふるまわれる。

(イ) 夏至 (ロ) 六月月次祭 (ハ) 冬至 (ニ) 大晦日

(85) 大人も子どもも皆が少額ずつ出し合って、田楽や萩の餅などを買って食べる。

(イ) どんど火 (ロ) 猫も三文 (ハ) 庚申さん (ニ) 年越参り

(86) この日まで、新穀は食べない。

(イ) 祈年祭 (ロ) 御酒殿祭 (ハ) 抜穂祭 (ニ) 神嘗祭

11. つぎの各文は、この地域の自然に関する表題を説明したものです。それぞれ1つずつ間違いがありますので、それを選び記号で答えなさい。

(87) 二見浦の海岸

- (イ) 立石崎を境に東はリアス式海岸、西は砂丘海岸が広がる。
- (ロ) 東は、丘陵が直接海にせまっており、その先端を神前岬と呼ぶ。
- (ハ) 西は、今一色まで平滑な砂州と発達した砂丘が続く。
- (ニ) 二見浦は信仰と関係なく、明治15年に日本で初めて開かれた海水浴場である。

(88) 伊勢市の植生

- (イ) この地域の植生の特徴は神宮林に代表される。
- (ロ) 現在の神宮林は、クスノキなどの常緑広葉樹と神宮杉などの常緑針葉樹からなる混交林となっている。
- (ハ) 古い時代は、シイ、サカキなど暖帯性常緑広葉樹林であったと推測される。
- (ニ) 時とともに、自然が改変され、常緑広葉樹林の面影を残す林は姿を消した。

(89) 宮川

- (イ) 大台ヶ原を源流とする長さ90km余の一級河川である。
- (ロ) 川には御裳濯川の別称がある。
- (ハ) 一級河川を対象として行われる水質ランキングでは、毎年上位を保っている。
- (ニ) 上流の電源開発や、農業用水での取水で水量が減少し、宮川橋を越えて潮の干満が見られる。

(90) 朝熊山

- (イ) 伊勢志摩国立公園の最高峰である。
- (ロ) 標高は555m。
- (ハ) 山頂からは鳥羽湾をはじめ、東海18洲及び富士山を眺望できる。
- (ニ) 珍しく、朝熊の名を冠した植物がみられない。

12. 市内に散在する「まちかど博物館」や「名所」などの位置関係が、指示にしたがって正しく並んでいるものを選んで記号で答えなさい。

(91) 宮川の上流から下流へ

A 山田奉行所記念館 B ゴーリキアイランド C 尾崎罌堂記念館
(イ) ABC (ロ) BCA (ハ) CAB (ニ) CBA

(92) 勢田川の上流から下流へ

A かどや民具館 B 河崎商人館 C みなとまち館
(イ) ABC (ロ) BAC (ハ) CAB (ニ) BCA

(93) 五十鈴川の上流から下流へ

A 御塩浜 B 鏡宮 C 神宮神田
(イ) ABC (ロ) BCA (ハ) CBA (ニ) ACB

(94) 御木本道路を外宮から内宮へ

A 中山寺 B 豊宮崎文庫跡 C 伊勢一刀彫会館
(イ) ABC (ロ) BCA (ハ) CAB (ニ) BAC

(95) 古市街道を内宮に向かって

A 伊勢古市参宮街道資料館 B 麻吉歴史館 C 小坡美術館
(イ) ABC (ロ) BCA (ハ) CAB (ニ) BAC